

2026
10月号
Vol.127

担い手 サポートセンター

通
信



写真上：JAはが野 高松 廉 さん
写真下：栃木県農業大学校 2年 増山 凱仁 さん

CONTENTS

サポートセンター情報	頑張る担い手インタビュー !!	2	園芸情報	シン・花粉交配昆虫「ハナアブ」	10
サポートセンター情報	農大生インタビュー !!	3	農業情報	ザクサ 100L キャンペーン !	12
中央会情報	農地の貸し借りは農地バンク事業を活用しましょう !	4	肥料情報	「シリカフミン」で土づくり	13
中央会情報	農業は正しく扱しましょう !	5	農業機械情報	第 9 回中古農機お買得市	14
農林中金情報	農業近代化資金	6	生活情報	JA ふれあい食材 リニューアル	15
米麦情報	いいことづくめ「秋の稲わらすき込み」	8	野生を食べる／編集後記		16
米麦情報	麦作の安定生産に向けて	9			

頑張る担い手インタビュー!!

▶ 名前(年齢)：高松 廉さん(28)

品目(面積)：夏秋なす〈露地・中長なす〉(7a)、
ハウスなす〈養液栽培・長なす〉(20a)

就農年数：1年目



本日は、JAはが野管内でなすの生産に取り組まれている高松廉さんをご紹介します。

▶ 就農までの経緯を教えてください。

実家では母がハウスなすを栽培していたため、農業は身近な存在でしたが、学生時代は農業を仕事にするとは考えていませんでした。その後、東京の民間企業で5年間勤務しましたが、農業に挑戦するなら体力のある若いうちが良いと考え、地元へ戻りました。また、農業をするなら、収入面も含めて自分で経営していきたいという思いがあり、母のハウスで半年ほど働きながら栽培を学び、独立に向けた準備を進めました。当初は夏秋なすでの独立を予定していましたが、ハウスなす栽培を辞める農家の方からハウスを引き継げることになり、現在は長なすの養液栽培にも取り組んでいます。

▶ ハウスなす(養液)栽培の魅力と、難しい点を教えてください。

露地栽培と比べて天候の影響を受けにくく、果実のすれ傷や防除作業の負担を抑えられる点に魅力を感じています。また、養液栽培では作業位置が高くなるため、かがむ作業が少なく、足腰への負担を軽減できることも利点です。身体への負担を抑えながら、長く栽培を続けられる点にも魅力を感じています。一方、温度や湿度などの環境管理は難しく、日々なすの状態を観察しながら試行錯誤を重ねています。分からないことは母に教えてもらうほか、栽培状況についてAIに質問するなど、さまざまな情報を判断材料にしています。



▶ 農業のやりがいや、地域とのつながりについて教えてください。

日々の作業や管理の成果が、なすの生育や収穫という結果に表れることに、農業のやりがいを感じます。一部は直売所にも出荷しており、自分が育てたなすを購入してもらえることもうれしいです。地域では久しぶりの若手農家ということもあり、部会の皆さんに温かく接していただいています。ハウスなす部会では、現地検討会や懇親会などの活動にも参加し、地域の生産者との交流を深めています。

▶ 今後の目標と、就農を目指す方へのメッセージをお願いします。

まずは面積を増やすことよりも、現在の規模で経験を積み、反収を高めながら、安定した経営を目指していきたいです。防除機などの設備を導入し、一人でも効率よく作業できる環境を整えていきたいと考えています。就農には資金面の準備も必要ですが、実際に始めてみなければ分からないことも多くあります。迷っている方には、まずは一步を踏み出してみしてほしいです。

自分で経営したいという明確な目標を持ち、まずは行動に移す姿勢が印象的でした。地域を担う若手農家として、今後ますます活躍されることを期待しています。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

農大生インタビュー!!

▶ 栃木県農業大学校
農業総合学科 露地野菜専攻
2年 増山 凱仁 さん



本日は栃木県農業大学校2年の増山凱仁さんにお話を伺いました。

▶ 農業大学校入学までの経緯を教えてください。

家では、かんぴょうのほか、米や麦、ごぼうなどを栽培しており、幼い頃から祖父や父が農作業に取り組む姿を見て育ちました。高校卒業後は、そのまま父と一緒に農業をするつもりでしたが、父から進学を勧められ、農業大学校への入学を決めました。初めは進学に前向きではありませんでしたが、これまで触れる機会のなかった品目についても学ぶことができ、農業に対する視野が広がったと感じています。何より、共に農業を学ぶ友人と出会えたことが、進学して一番良かったことです。

▶ 農業大学校では、どのようなことを学びましたか。

1年次には、畜産、園芸、耕種など農業の基礎を幅広く学び、2年次からは実習を中心に、より実践的な知識と技術を身に付けました。特に印象に残っているのは、農薬や農業機械について学んだことです。実際の農作業に役立つ知識を得るとともに、大型特殊自動車免許やけん引免許、農業機械士の資格も取得しました。

また、海外視察でイタリアとフランスを訪れ、日本との農業の違いに触れたことも貴重な経験となりました。



▶ 卒業論文では、どのような研究に取り組みましたか。

かんぴょう栽培に生かしたいと考え、同じウリ科のキュウリを使い、大麦を利用した「リビングマルチ」による雑草抑制について研究しました。かんぴょう栽培では一般的にワラを敷きますが、別の方法で代替できないかと考えたことがきっかけです。研究では雑草を抑える効果が確認できた一方、かんぴょうの実を守るクッションとしての役割には課題があることが分かりました。期待していた結果にはなりませんでした。自分で考えて検証した経験を、今後に生かしていきたいです。

▶ 卒業後の目標を教えてください。

卒業後は、父と一緒にかんぴょう栽培に取り組む予定です。地域ではかんぴょう農家が少なく、このままでは作る人がいなくなってしまうのではないかと危機感があります。家族が続けてきたかんぴょう栽培を自分の代で終わらせることなく、できる限り多く生産し、次の担い手へつないでいきたいです。緑豊かな田園風景を守りながら、いつか祖父や父のように、次の世代に背中を語る農家になることが目標です。

「かんぴょうを自分の代で終わらせたくない」という言葉が印象的でした。地域の特産品を未来へつなごうとする思いが感じられ、今後の活躍が楽しみです。本日はありがとうございました。

農地の所有者や耕作者の皆さんへお知らせです

農地の貸し借りは 農地バンク事業を活用しましょう!!

つながろう、農地
つながろう、農地バンクへ

農地バンク事業は、農地の有効活用と農業の生産性向上を目的として、農地バンクが農地所有者から農地を借り受け、市町が策定する「地域計画」に基づき、担い手へまとまりのある形で貸し付ける事業です。

「農地を貸したい」「農地を借りたい」

そんなときは、お近くの市町農政担当課、農業公社、農協などの地域の窓口へお気軽にご相談ください。

農地バンク事業の仕組み

出し手

(農地所有者)



- 規模縮小
 - 経営転換
 - 農地相続
- でお困りの方

借受

農地 バンク

(栃木県農業振興公社)

連携
協力

市町農政担当課・
農業公社・農協 など

貸付

受け手

(地域の担い手、新規就農者等)



- 規模拡大
 - 農地集約
 - 新規参入
- をお考えの方

- 〈出し手のメリット〉
- ・ 賃料は農地バンクが支払い、契約期間満了後には農地は確実に戻ります。
 - ・ 納税猶予の適用農地の場合、納税猶予の適用が継続されます。
- 〈受け手のメリット〉
- ・ 長期間の借入れが可能なので、安心して耕作や設備投資ができます。
 - ・ 出し手が多数いても、契約や賃料の支払いが一括化されるので、事務が軽減されます。

- 対象農地は、市街化区域以外の区域の農地です。また、再生不能と判断された遊休農地でないこと、受け手が見込まれる農地であることなどの基準があります。
- 貸借期間は、原則10年以上です。
- 要件を満たせば、農地集約化促進事業の支援金が受けられます。
- 同一の地域計画区域内に所有する全農地を農地バンクに貸付けることで、農地の固定資産税の軽減が受けられます（その他要件あり）。

栃木県農地バンク(栃木県農地中間管理機構)

公益財団法人栃木県農業振興公社

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢二丁目2番13号(とちぎアグリプラザ2F)

☎ 028-649-0818 <http://www.tochigi-kikou.jp>



農薬使用前、 よく見て見て

誤飲を防ぐため、**施錠**された
場所に保管する等**保管管理の徹底**



誤飲防止のため
移し替えは厳禁！

確認しよう！**農薬ラベル**による
使用基準の徹底確認



使用前に必ずラベルで
作物名・使用方法・防護装備の
確認をしましょう！



土壌くん蒸剤を使用した
後の**適切な管理の徹底**

看板の設置等
周囲に配慮

**土壌くん蒸剤
立ち入り禁止**



住宅地等で農薬を使用する
際の**周辺への配慮及び
飛散防止対策の徹底**

近隣住民への
事前告知



農薬散布は
無風または
風が弱い時に
しましょう！



正しく扱うことが
一番お得です！

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和 8 年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

明日の
農業を担う
皆様へ

JAバンク栃木は
皆様の農業経営の発展を応援します！

農業近代化資金

最大

※1,2,3,4
当初5年間
実質金利

%

※5
全期間で
保証料

円

一定の条件を満たすことで
最大4つ（国・県・市町・JAバンク）の利子補給・利子助成で
あなたの農業経営をJAバンクがサポートします

例えばこんな時に

農機具の購入・更新を行い
作業効率をあげたい！

ハウスを新設して生産の
拡大に取組みたい！

畜舎の増築で飼養
頭数を増やしたい！

- ※1 県の利子補給および農林水産長期金融協会からの利子助成を受けられる方に限ります。また、お住まいの市町によっては市町からの利子補給、お借入れ条件によってはJAバンク利子補給が受けられる場合があります。当初5年間の実質金利を低減（最大0%）できる場合があります。
- ※2 県および農林水産長期金融協会、市町、JAバンク栃木の単年度の予算の範囲内に限ります。予算額の上限に達した場合は、利子補給および利子助成は受けられませんのでご注意ください。
- ※3 金利は金融情勢によって変動します。上記は2026年4月時点の金利です。お借入時期等によっては、上記の条件とならない場合があります。
- ※4 6年目以降は、お借入れ条件によって所定の金利が適用されます。
- ※5 JAを窓口として農業近代化資金を借入れる方に対して、本来借入者が栃木県農業信用基金協会に支払う保証料の全額をJAバンク栃木が助成いたします。

詳しくはお近くのJAにお尋ねください

◇お借入れの際は、JAが出資金をお預かりする場合がございます。◇店頭にてご返済額の試算を承っております。◇審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。◇借入金利および保証料の助成の適用には、条件があります。◇貸出期間中の条件変更や延滞等の事象により、上記利子補給および保証料助成の対象から外れる場合がございます。◇融資実行までに時間を要する場合がございますので、お早めのご相談をお願いします。

商品概要

～農地の取得以外の幅広い用途にご利用いただける資金です～

対象者	認定農業者、認定新規就農者、農業者（個人・法人・集落営農組織等）等
資金使途	・ 畜舎、果樹棚、農機具その他農作物の生産、流通または加工に必要な施設の改良、造形、復旧または取得に必要な資金 ・ 果樹の植栽・育成に必要な資金 ・ 家畜の購入・育成に必要な資金 ・ 農地の小規模な造形・改良に必要な資金 ・ 農地の規模拡大、農業経営の改善に必要な長期運転資金 ※事前着工（機械設備・家畜の場合は据付または搬入、建設等の場合は工事の開始）は原則不可です。各農業振興事務所の利子補給承認前に事業の着工が行われた場合、事前着工として、原則として利子補給対象事業と認められない場合があります。
貸付期間	資金使途に応じて最長7年～15年以内 ※原則耐用年数以内 （据置期間を取ることもできます）
貸付金額	・ 個人：1,800万円以内（知事特認を受けた場合2億円） ・ 法人：集落営農組織等：2億円以内 ・ 農業参入法人：1億5,000万円以内
融資率	原則、事業費の80% ※認定農業者の場合、個人1,800万円、法人2億円までにかぎり、事業費の100% ※集落営農組織等は3,600万円までに限り、融資率100%
担保	原則として不要 ※栃木県農業信用基金協会保証利用の場合は、担保基準は協会の定めるところによる
保証	原則として、栃木県農業信用基金協会の保証を付する ※栃木県農業信用基金協会保証利用の場合は、保証基準は協会の定めるところによる
JAバンク 利子補給	補給率：最大1.0% 補給期間借入当初5年間 その他要件：当初借入金額100万円以上が対象になります。
JAバンク 保証料助成	事業実施期間：2018年3月1日～2027年2月28日 対象者：事業実施期間内に農業近代化資金をお借入された方

※店頭にてご返済額の試算を承っております。

※詳しくは店頭の説明書、またはホームページの説明書をご覧ください。

※詳しい条件につきましては、お近くのJAまたは担当者にお尋ねください。条件によっては、ご希望にお応えできない場合があります。

詳しくはお近くのJAまたは担当者へお尋ねください

水稻秋耕 いいことづくめ『秋の稲わらすき込み』

J A 全農とちぎ 米麦部

地球温暖化の一因は水田からのメタンガス!! (*_*;

ここ数年は記録的な酷暑が続き、稲作にも大きな影響が出て農家を悩ませています。その原因の一部が水田にあるというのは耳の痛い話です。

地球全体の温室効果ガスのうち、メタンは15% (2010年気象庁) ですが、CO₂の約25倍の温室効果があります。日本のメタン排出量は2019年で2840万t (CO₂換算)。その内で水田からのメタン排出割合は42%で最も多く、水田での取り組みで大幅に削減することが温室効果ガス全体の削減のために求められています。では、どのようにして水田からのメタンガス排出を削減できるのでしょうか？



稲作農家が実行しやすい対策として『稲わらなどの水田へのすき込みを、春の田植え前ではなく、**稲刈りのすぐ後に行う**』ことです。

稲刈り後に稲わらや稲株をそのままにして、まだ気温の上がらない春先にすき込むと微生物は活動が鈍いため分解がなかなか進まない。さらに田植えのために水を張れば、酸素の少ない状態となり、暖かくなってくると沈んだ有機物をエサとして嫌気性のメタン生成細菌が活動を始めてしまう。

一方、稲わらや稲株を稲刈り直後に土壌へすき込めば、しばらくは秋の気温が高い日が続くことが多いため、土壌中で有機物の分解が早速起き始める。しかも、トラクターで耕耘した土壌は酸素の多い状態であり、分解してくれるのは酸素の多い環境を好む微生物たち。

冬の間に好氣的に分解し、田植後の湛水における嫌氣的な分解を抑え、メタンガスの排出が春耕と比べ約80～90%減少 (1994福島県農試) し大幅に削減できます。

秋耕 いいことづくめの『秋の稲わらすき込み』

- ①もちろん秋耕は温室効果ガス削減効果だけではありません。翌年の水稻生育のためにも重要な作業です。本田の準備は、収穫後の秋耕から始まります。
- ②秋耕で稲わらを鋤込むことによって、春までに半分の稲わらを腐熟させ、土の中で堆肥を作ることとなります。乳白米などによる米の品質低下は、堆肥施用量の減少等による地力低下の影響も大きいと言われています。堆肥化により化学肥料を5～10%減らすことができます。
- ③田植直後の窒素飢餓や根腐れの原因となる硫化水素ガス（通称：ワキ）の発生予防にも有効で初期生育の停滞を防ぐことができます。
- ④再生稲（ひこばえ）は、ヒメトビウンカ等の増殖源や縞葉枯病ウイルス等の伝染源となる恐れがあるため、収穫後は速やかに鋤込みましょう。
- ⑤秋耕は多年生難防除雑草の塊茎を冬の寒さに晒すことで来年の雑草防除効果もあります。
- ⑥耕深は15cm以上とすることで、根域を広げ秋まさりのイネとなります。ロータリー耕でも速度を落として耕起すれば、通常のトラクターで充分耕深を確保できます。



稲刈後再生稲（ひこばえ）の縞葉枯病発病の様子
ウイルスによりヒコバエが黄化している

麦作の安定生産に向けて

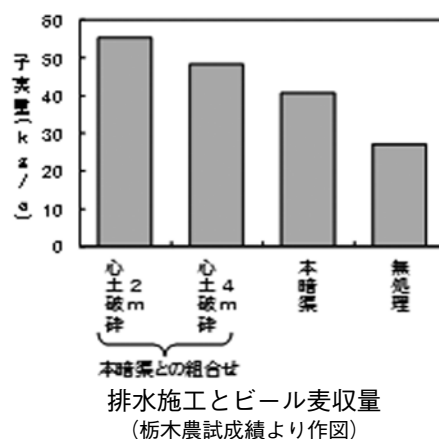
J A 全農とちぎ 米麦部

1 連作の回避・輪作体系の確立

麦は畑作物です。畑作物は輪作することが大前提です。麦の品質・収量を安定させるには、麦→麦の畑連作をしないことが重要です。連作により、①収量・品質が低下しやすい（細麦化・高蛋白化）。②病気（麦縹萎縮病・萎縮病・なまぐさ黒穂病等々）や養分欠乏症（Mn・Mg欠等）が出やすい。③雑草が発生しやすい等の障害が深刻化してきます。

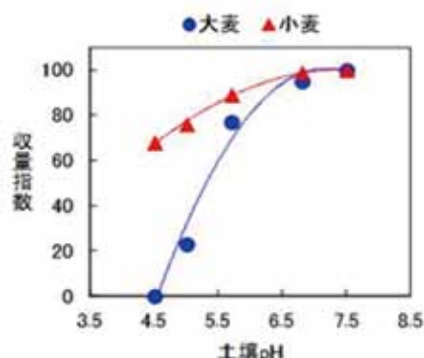
2 徹底した排水対策

麦は播種時・生育期・登熟期の全栽培期間を通じて湿害を受けやすい作物です。排水対策のポイントは、①団地化、②地表排水（額縁明渠等排水溝設置＋排水口に接続）、③浸透排水（プラソイラ等による心土破碎）です。



3 土づくり

麦類は酸性に弱く土壌が酸性化すると生育・収量に大きく影響します。播種前に、pH6.5を目標に、苦土炭カル等を施用します。pHが5.5以下になると生育不良となり、5.0以下では発根が抑制され2月頃株全体が黄化して枯死するか、湿害を受けたように下葉が枯れ上位葉も黄化し短稈で茎数不足となります。特に麦のみの連作畑に多く見られます。



土壌pHと収量性との関係 (農業技術体系より)

4 適期播種

適正な播種時期の目安は、年内に適切な葉齢を確保し（寒冷地ほど年内の葉齢・生育量は多く必要）、根張りを十分にさせると同時に、目標穂数の8割以上の茎数（500～600本以上/m²）を確保できる時期です。

年内に確保すべき葉齢は、県中北部では3～4.5葉、県南部では2.5～4葉です。年内積算気温と生育ステージとの関連性から各地域の播種適期は次のとおりです。

県北部地帯： 11月1日～15日（黒磯10月29日～11月6日）

県中部地帯： 11月6日～20日（宇都宮11月7日～11月16日）

県南部地帯： 11月10日～25日（佐野11月11日～11月20日）

※（ ）内は年内平年平均気温積算から積算した適期（県南359～265℃、県中北390～296℃）

※ 気象庁の季節予報（1か月、3か月、寒候期予報）も参考にして播種時期を決めます。

気温が高い（暖冬）予報の時は5日程度遅らせ、低い（寒冬）予報の時は5日程度早めます。

シン・花粉交配昆虫 『ハナアブ』

10月上旬から販売開始



〜 こういうことで困ってませんか 〜

1. ミツバチ不足による心配



2. 毎年ミツバチの飛びが悪いハウスがある



3. 厳寒期ミツバチが飛ばず受粉ができず受粉不良果ができる



4. 毎の管理でミツバチに刺される心配がある



ハナアブの紹介



ハナアブの特徴

1. 安定的供給が可能
(人工飼育なので供給不足の心配がありません)



2. 紫外線を必要としない
(雨天曇天やUVカットフィルム下でも活動します)



3. 活動温度帯が広い
(厳寒期など、その他の花粉交配昆虫の活動が鈍る時期にもよく活動します)



4. 人や植物に危害を加えない
(人を刺したり、過剰訪花したりしないため、安全にお使いいただけます)



☆ 『年内お試しキャンペーン実施予定』 ☆

(株)JAグリーンとちぎ/アピ(株)

20260916

ハナアブ商品名:クイーンフライ

商品規格

内容量
箱サイズ500匹/箱
(縦10cm×横14cm×高10cm)出口
前後に2箇所

作物別使用量目安(10㎡あたり)

条件	ハナアブのみで 使用の場合	ミツバチと 併用の場合
イチゴ・スイカ・メロン	2箱	1箱
マンゴー	4箱	2箱



導入・使用方法

ご使用方法

・商品は、サナギの状態でお届けします。サナギを羽化させることで成虫が受粉を行います。
(※時期や輸送状況によってお届け時点で羽化している場合もございます。)

開放

・ご使用の際は、箱の前後2箇所にある出口(切り取り線の部分)を押し開けてください。
※導入の際は逃避防止のためネット(クイーンフライは4mm以下)を展張してご利用ください。

羽化方法

・羽化に最適な温度は23℃前後です。その環境下であれば2～3日で羽化します。
※Bフライヤー(ビーフライ専用ヒーター)の応用も可能。
・ハウス内に導入する際は、風通しがよく、直射日光の当たらないところに設置をお願いいたします。
・箱を地面に直接設置すると徘徊性のクモやアリにより食害される恐れがあります。
・箱を吊り下げる場合は、20cm程度の高さに設置してください。それより高い位置に設置すると羽化したハナアブが落下してダメージを受ける恐れがあります。
・厳寒期は出口を開けた状態で虫かごなどに入れ23℃前後の温度が確保できる室内で管理し、羽化が始まったらハウスに導入してください。(導入の際は虫かごから出してください。)

給餌

・エサは基本的には必要ありませんが、花の少ない時期は砂糖などを与えて頂くとより活性がでます。

使用期間

・寿命は2～4週間程度です。長期使用の際は定期導入・連続放飼が必要になります。

農薬

・上記QRコードから農薬影響表をご確認いただき、計画的な農薬散布をお願いいたします。



導入

使用

栃木県JA限定

ホクコー

ザクサ
液剤

100ℓ キャンペーン

農林水産省登録
第22902号

終了間近!!

ご購入で
**アウトドアグッズ
プレゼント!**

キャンペーン期間内にザクサ液剤 100ℓ 入製品
を1缶ご購入につき、下記賞品(3点セット)をプレゼント!

キャンペーン賞品内容



キャンピングチェア



アドベンチャーハット



ワイヤレスイヤホン

▶キャンペーン期間

2026年 11月30日(月)まで

▶賞品お届けについて

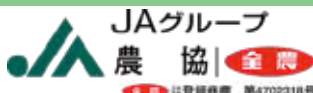
ご購入後、製品配達時に専用ポンプと共に
賞品(3点セット)をお届けいたします。

※キャンペーン賞品数量上限に到達し次第、終了とさせていただきます。
予めご了承ください。

ザクサ液剤100ℓ 入製品のご購入は最寄りのJAまでお問合せください。

※納品に当り、フォークリフトが必要となる点をご留意願います。

ザクサは三井化学クロップ & ライフソリューション(株)の登録商標



腐植酸・微量元素・脱脂ぬか・けい酸配合

「シリカフミン」で土づくり

ペレット15kg

●保証成分(%)

主要肥料成分		微量成分		土づくり成分		
りん酸 全量	＜溶性 苦土	＜溶性 マンガ	＜溶性 ほう素	けい酸	腐植酸	有機質
1.0	2.0	0.20	0.10	20.0	(21)	(24)

() 内は含有成分

●特長

- 1.この肥料は、野菜、花き、果樹用の高品質・安定生産のための土づくり肥料です。
- 2.腐植酸含有量は21%と高く、また脱脂ぬかやシリカゲル（けい酸質資材）も配合しているため、微生物活性を持続させ、根の活性を高めて根張りを良くします。
- 3.苦土、マンガ、ほう素、けい酸などのミネラル補給にも役立ち、品質の良い作物ができます。
- 4.土壌の物理性を良くするため土づくり成分を多くしています。
- 5.ペレット状なので、使いやすく撒きやすくなっています。

●土づくり成分の主な効果

腐植酸と有機質はたい肥の役割ともなります

成分の役割	主な効果
けい酸	作物体を剛直にし、病害虫の侵入を防止する効果が知られています また、根の活性を高めて根張りを良くします
腐植酸	CEC を高め、保肥力の向上、緩衝能の増大、りん酸固定の緩和、土壌団粒化の促進など物理性の改良に効果があります。
有機質	土壌中の微生物の活動を高め、物理性の改良にも効果があります。

●基準施用量

10アール当たり 225kg～300kg(15袋～20袋)

※これは基準量ですから、作物・地域により適宜加減してください。

製造 株式会社 JAグリーンとちぎ



JAグループ栃木/JA全農とちぎ

第9回

中古農機 お買得市



2026 年

11月11日(水)

AM9:00~PM12:30

【受付PM12:00まで】

※展示会にて購入希望者が重複した商品については、抽選会にて購入者を決定いたします。

※来場を希望される方は事前にお近くのJA農機センターまでご連絡ください。
(予約制ではありません)

会場

JA全農とちぎ 農業機械総合センター
宇都宮市上桑島町 1459-2

〈お問合せ〉 028-616-8842
(全農とちぎ農業機械課)

主催

JAグループ栃木/JA全農とちぎ

会場案内図



JAふれあい食材

リニューアルいたします！

10月から始まる **5つの新コース**

ラクカジ

2人用 27,800円（税込）

\concept/
レシピ付きで迷わない！
20分でちゃんと
おうちごはん



お届け回数 10回/月
1回の品数 5~6品

こんな方におすすめ

- ✓ 食事の準備を少しでも早く終わらせたい
- ✓ 毎日の「献立を考える時間」を減らしたい

なごみ^{プラス}

1人用 13,800円（税込）

\concept/
届いてすぐ、調理いらず
で手軽にごはん



お届け回数 10回/月
1回の品数 4~5品

こんな方におすすめ

- ✓ 湯せん、電子レンジ、解凍だけでパッと食事を準備したい
- ✓ 「ひとり分だけを作るのは無駄がでちゃう…」とお悩みの方

マイキッチン

2人用 25,800円（税込）

4人用 45,800円（税込）

\concept/
肉も魚もバランスよく、
初めての食材宅配ならまずはここから！



お届け回数 10回/月
1回の品数 4~5品

こんな方におすすめ

- ✓ 食材宅配を初めて利用してみたい
- ✓ 小さなお子様からシニア世代まで幅広い年齢層のご家庭

おさかな日和

2人用

22,800円（税込）

\concept/
定番の味から
こだわりの逸品まで、
おうちで味わう
バイヤー厳選の海の恵み



お届け回数 8回/月
1回の品数 4~5品

こんな方におすすめ

- ✓ とにかくお魚が好き
- ✓ お魚中心の食卓にしたい

ぜいたく日和

2人用

22,800円（税込）

\concept/
メインのひとつに
こだわりました。
おうちで味わう
バイヤー厳選の味



お届け回数 8回/月
1回の品数 2~3品

こんな方におすすめ

- ✓ ワンランク上の主菜を楽しみたい
- ✓ 厳選された逸品を味わいたい

※コースの料金は内容により変動いたします。あらかじめご了承ください。



生産者とご家庭を「食」でつなぐ懸け橋になります。

- 私たちは、国産農畜産物をお届けし、「国産国産」に取り組みます。
- 私たちは、「食」を通じて豊かな暮らしを支えるパートナーとなります。
- 私たちは、環境に配慮した宅配事業を目指します。



お問合せは各食材センターまで



各食材センターのお問合せ先はこちら→

各センターが不在の場合は...
JA全農 東日本生活事業所 栃木推進課 お客様相談窓口



0120-915-201

までご連絡ください。

受付時間 月～金（8:40～12:00、13:00～17:00）土日祝日はご利用できません。



野生を食べる 199 ヌメリスギタケモドキ

モドキというからにはモドキでないものもある。スギタケの仲間は何んだかいろいろあって、たいして調べもせずにヌメリのあるやつをヌメリスギタケ、ないやつをスギタケと称して食べていた。今回、本稿を書くにあたって名前を正しくすべきと調べたところ、柄にヌメリのないヌメリスギタケモドキであった。柄までヌメルものがヌメリスギタケという。木に生えるスギタケの仲間はだいたい食用可であり種類を間違っても構わないが、地面から生えるツチスギタケはたいして旨くないし中毒を起こすことがあるので食べないように。



料理メモ

実はナメコも同じ仲間なので、それと似たような料理に向いている。柄は結構硬いので柄は捨ててしまっていたが、よくやるバター醤油など何か利用法を考えればよかったと反省している。写真1は「おろし和え」。洗ったのち水は切り、酒と醤油で煮て大根おろしを添えたもの。なかなか旨い。写真2はネギと豆腐を使った「吸い物」。まあまあ旨い。写真3は「キノコうどん」。キノコ、薄切り豚肉、ネギ、麺つゆ、醤油、みりん汁を作り、そこに冷凍讃岐うどんを投入した。簡単だが十分に旨い。

(aida)



写真1



写真2



写真3

編集後記

今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。秋の味覚の代表格である松茸が、今年は豊作で品質も良いという話を聞きました。松茸を食べたことがないので、今年こそ念願の“松茸デビュー”を果たしたいと思います！（岩根）



発行：JA全農とちぎ 担い手支援課

TEL 028-616-8838

FAX 028-616-8819

生産者のみなさまへ

LINE@

友だち募集中!

ID: @jatochisappoen

スマホで読める!

災害情報をいち早く確認!

燃料情報やイベント情報をお届け!

コードを読み取るか、IDで検索

担い手サポートセンターが 生産者のみなさまを LINEを通してしっかりサポート!

24時間年中無休で 受付可能!